

奈良県総合医療センター公開講座を開催いたしました

平成28年2月13日（土）、奈良市西部会館市民ホール（学園前ホール）にて、奈良県総合医療センター公開講座「がんになっても自分らしく過ごすために～在宅緩和ケアを始めよう～」を開催しました。当日は、雨の中にもかかわらず地域の方々約250名にご来場いただきました。

奈良県総合医療センター集学的がん治療センター長 渡辺明彦を座長とし、小林真也（同センター腫瘍内科医長）より「治療医がすすめる！がん治療中から始める緩和ケア」、松原操（同センターがん性疼痛看護認定看護師）より「病院看護師から進める！こんなときこそ在宅緩和ケア」、森井正智（ホームホスピスひばりクリニック院長）より「在宅医が教える！在宅緩和ケアの現状と問題点」、志茂友紀子（訪問看護ステーションなでしこ 所長 訪問看護認定看護師）より「訪問看護師に聞く！治療中の在宅緩和ケア」、大谷紋子（近鉄スマイルあやめ池ケアプランセンター主任介護支援専門員）より「ケアマネジャーがつなぐ！在宅緩和ケアと介護保険」の題で、5名の演者によるリレー講演を行いました。

講演後は、在宅緩和ケアの相談窓口についてや治療に対する疑問等、数多くの質問を頂き、在宅緩和ケアに対する関心の高さが伺えました。

